

## 第4回成田市リサイクルプラザ運営委員会議事録

- 1 開催日時 平成28年9月13日(火) 午前10時～12時
- 2 開催場所 成田市小泉344番地1  
成田市リサイクルプラザ 2階 活動室
- 3 出席者 (委員) 片岡委員長 長尾副委員長 福原委員 渡邊委員 稲阪委員  
中山委員  
(事務局) 渡辺主査
- 4 傍聴者 なし
- 5 内容 第4回成田市リサイクルプラザ運営委員会

### 議 題

#### (1) 牛乳パックからはがき・広告紙から小物入れの結果報告

事務局 4組8人の参加で、すべての組が小学1年生の女の子と母親でした。

委員長 申込時に少なかったなので、友達にも声をかけてもらいました。知り合い同士で楽しくやっていた。ただ参加者が少なかった。

N委員 いつもの事なのだけれど、早く作りすぎて暇そうにしている人と、ゆっくりやる人と、いくつも作品を作りたがる人とで終わり時間がまちまちなので、リサイクルプラザのビデオでも見て時間調整をしたらいい。

それから、参加者から無料だからいいねとの声が聞こえた。

N委員 今の若い人は新聞を取っていないので、広報よりなりきち、エリート情報に載せるとよい。子育て中の人にはウェブで無料のイベントを探している。私が市に何度も働きかけて、やっと子育て支援サイトが出来上がったので、こちらでも活用したらいい。

#### (2) 視察研修について

事務局 10月18日(火)家電製品のリサイクル施設である㈱ハイパーサイクルシステムズに視察します。リサイクルプラザから9時出発します。お昼は実費をいただきます。

委員長 車の駐車は本庁でなく、リサイクルプラザとします。10分前には集合して下さい。お昼はどうするか？

事務局 この近辺で食事をするところはなく、幕張かららぼーとまで行かないと無いと聞いています。場所を決めて予約をしたいと思います。

委員長 工場地帯で、昼食をとれる場所はない。ららぼーとで昼食が良い。視察の後移動してからで昼食時間がずれるので、平日だし10人前後なら予約せずに入れるでしょう。場所は後で調べます。

#### (3) 産業まつりの参加について

事務局 産業まつりは11月19、20日です。

委員長 展示物としてリサイクル教室で作成したものを皆さんで持ち寄ります。

N委員 見学者に配っているリサイクルプラザのパンフレットもほしい。

来年度のリサイクル教室の予定表も配りたい。

(4) リサイクル教室(布草履づくり)について

N 委員 木綿生地が良い。参加者の中には布草履に相応しくない生地を持参する方がいるので、不要になった浴衣生地が有れば用意しておいてほしい。

(5) 年度事業計画 (案) について

委員長 事務局から今年フリーマーケットをやりたい話があります。

N 委員 年末になると家庭からの不要家具が集まるので、ここでフリーマーケットをやる必要がある。

事務局 今からですと12月11日(日)です。

委員長 寒くなるので、室内でやりたい。2階でフリーマーケット、家具は1階・自転車は3階の通路のつきあたりまで使って展示します。

N 委員 出店で山野草なら外玄関のあたり、食べ物ならテーブルの上がいい。

事務局 前回の出店者で対象者の方へは声掛けして指定席とします。

N 委員 産業まつりでフリーマーケットのチラシを配りたい。

委員長 前回のフリーマーケットは8時30分集合でした。他は10月18日(火)の視察のバスの中、食事中に話し合ひましょう。

委員長 来年度事業計画(案)については、どうするか。

事務局 前回の委員会時に問題になった作務衣ですが、難しいので講師に相談したら、参加者の進みが早く、作品が出来上がりそうだとの返事をいただいています。

委員長 講師の先生も要望が有れば頑張るとのことです。

N 委員 M、L、LLの型紙の用意をし、申込時に服のサイズを聞くとスムーズに進む。

委員長 今年も人気があったし、来年も作務衣づくりをします。早速この委員会が終わったら、講師のいるうちに来年用の型紙を用意したい。

委員長 29年度事業計画(案)については、今年度と同じことをしたい。

フリーマーケットも計画しておきます。

第1回運営委員会 4月25日(火)

フリーマーケット 5月21日(日)

帽子作り 6月6日(火)、13日(火)

石けん粘土で遊ぼう 7月22日(土)

ハガキ・小物入れ 8月5日(土)

作務衣づくり 9月5日(火)、12日(火)

フリーマーケット 12月3日(日)又は10日(日)

布草履づくり H30年2月20日(火)

(6) その他

委員長 委員を増やしたい。

N 委員 主婦でありいくつかの委員を掛け持っている方が多いので、なかなか全員が揃うことがない。前回のリサイクル教室はお手伝いが3人しかいなかったもので、大忙しだった。委員が増えれば個人の負担も減る。

よその団体でボランティアをいっているが、どこでも自分が一番若い。若い力

がほしいのだが、どこでも人員が不足していて問題になっている。

N 委員      この委員会はボランティア部分が多い。よその課でも委員をしているがほんの数時間の会議で報酬が出る。リサイクルプラザ運営委員は今日の委員会は報酬が出るが、例えば9月6日のリサイクル教室は1日でも報酬が無い。これでは友達に委員の誘いができない。

I 委員      教室で聞かれても答えられる知識も必要。委員を引き受けているからには、それなりの勉強をして努力したい。

委員長      報酬については、この事務局だけではなく他の様子を見る必要がある。